

区分	評価指標	実績		前年度比	目標値		自己評価	内容説明および自己評価	図書館協議会委員からのご意見	外部評価	
		H30	R元		R2	R5					
図書館運営	基本的サービス										
	資料購入費・決算数値（千円）	10,988	11,135	147	—	—	B	<ul style="list-style-type: none"> 資料購入費については微増。限られた財源の中で、蔵書増に努めた。 個人貸出冊数、登録者数については、人口減およびコロナ禍の影響を受けつつも、増加。 来館者数の増は、H30年度に新築移転した両津図書館の、大幅な伸びによる。 	<p>○評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当、概ね評点どおりと思われる。 全てにおいて目標どおり達成であり、新規登録者減は児童生徒数の減少・大学進学者の市外転出が多いため、評価項目自体が図書館側の努力では向上は無理であるので、()を無くしA評価とすべき。 内容説明および自己評価について 両津図書館の新築移転での増加もあるが、他の図書館(室)の来館者数もほぼ前年どおりであるため、新規利用者が伸びたと思われる。一過性にすぎず、各地区で工夫を凝らしてほしい。 コロナ禍の影響で増加したという分析も成り立つのではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数の増加を運営目標の根幹と捉えたい。今年度は、新設両津図書館の影響もあり満足できる結果を示している。その要因を細かく分析する必要がある。利用者の側に立ち、他の施設で実践できるものを洗い出すと新たな施策が見えてくるのではない。 IT機器等の充実と電子書籍等の導入も検討されたい。 	
	蔵書冊数	346,584	352,736	6,152	358,000	360,000					
	個人の貸出冊数	246,946	252,757	5,811	250,000	300,000					
	登録者数	16,189	17,012	823	17,800	20,000					
	（うち新規登録者数）	993	859	▲134	900	1,200					
来館者数	149,201	163,702	14,501	160,000	155,000						
施策・事業	1 佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館										
	12歳以下子ども一人当たりの児童書数	20	22	2	24	23	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校への団体貸出冊数は、コロナ禍の影響等で減。 R1年度に学校図書館との懇談会を新規で2回、開催した。今後も継続的に開催予定。 	<p>○評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1項目が未達成(社会的要因)でBは妥当、概ね評点どおりと思われる。 内容説明および自己評価について 懇談会、合同研修会は大変ありがたい。今後も継続してほしい。 コロナの影響を最小限にできるよう、学校とのきめ細かい協議をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> 佐渡の子どもの読書量は増えているのか、減っているのか基本的なデータが欲しい。それを踏まえて、小・中・高との連携が重要になってくる。司書教員との合同研修は大きな柱になる。回数ではなく内容の評価も必要。 保育園等との取り組みも期待したい。 数値には表れにくいであろうが、本好きを育てる活動も進めてほしい。 	
	小・中・高等学校への団体貸出冊数	9,317	7,796	▲1,521	9,000	10,000					
	学校図書館との懇談会、合同研修会 回数	0	2	2	2	3					
	2 誰もが利用しやすい図書館										
	高齢者向けイベント 実施回数	0	0	0	1	4	C	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者向けイベントと意見箱は、R2年度中の開催および設置を予定。 コロナ禍で移動図書館車の運行回数減。 	<p>○評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス対策の影響もあるため、評点は妥当。 高齢者率の高い遠隔地でのアクセスの問題等、改善が望まれる。 内容説明および自己評価について 移動図書館について貸出冊数の比較をする必要はないか、回数減の理由が妥当かも含めて検討の余地がある。 高齢者向けイベントは充実したものになるようPDCAをした上でぜひ実現してほしい。 意見箱は集約後、回答を紹介することが双方向の意見交流として大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが利用しやすい図書館として、高齢者をターゲットにしているが、年齢・性別ごとの意見を集約してこそ、方向性が見えてくるのでは。 本好きにする地域ぐるみの活動は考えられないか。 読み聞かせなどボランティアの活用を積極的に進めてほしい。 	
	利用者の意見を把握する機会の設定（意見箱設置）	1	1	0	10	10					
	移動図書館車での貸出冊数	4,604	4,316	▲288	4,000	5,000					
	3 佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館										
	郷土資料の蔵書冊数	33,950	35,110	1,160	36,500	36,000	B	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料の蔵書冊数と貸出冊数は毎年増加しており、さらに効果的な活用を目指した事業の実施を計画している。 	<p>○評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> 先の2(誰もが利用しやすい図書館)と同様に考え、Cが妥当/概ね評点どおりと思われる/Aでもよいのではない。 内容説明および自己評価について 郷土資料について、関係機関と連携した活用を望む。 郷土資料を活用した事業の実施回数は、専門機関との共催でないと難しい。郷土資料のデジタルアーカイブ化なら少しづつ取り組めるのではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料は充実しており、貸出件数も満足できる。検索のしやすさが課題のようだが、他図書館の事例等を参考にデジタル化を進め、学校現場へ情報提供すれば活用数も増えるのでは。 郷土資料の需要が高いことから、出版情報に目配りし、郷土資料の充実を望む。非売の資料もあるので入手に努められたい。 博物館等で所蔵する郷土資料との連携も考えてほしい。博物館等の所蔵する図書資料なども検索可能にできないか。閲覧の方法についても考慮されたい。 	
	郷土資料の貸出冊数	3,264	3,730	466	3,800	3,500					
	郷土資料を活用した事業の実施回数	0	0	0	1	2					
	4 市民と共に歩み、愛される図書館										
	予約冊数	56,389	58,547	2,158	60,000	60,000	B	<ul style="list-style-type: none"> ネットを利用した個人予約の件数が増加。 コロナ禍の中で図書館を効率的に利用いただけるよう、予約サービスの周知に努めた。 	<p>○評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当、概ね評点どおりと思われる。 内容説明および自己評価について コロナもあり、図書館の役割の再考が必要。状況に合った予約や貸出方法を考えてほしい。 ネットでの予約サービスは、これからさらに伸びる可能性を感じる。ゆくゆくは、デジタル書籍のサービスも取り入れることになるのではと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 予約冊数は目標値に近づいており満足できる結果だと思う。人気図書は、予約人数を見てあきらめている人も相当いるのではない。有効な対策はないのだが、情報提供は必要と思われる。 限られた予算の中では難しいと思われるが、市民のニーズを的確に把握し、購入と併せ愛される図書館にしていきたい。 	
	新着案内・テーマごとのリスト 発行回数	24	24	0	28	30					
5 市民の課題解決を支援する図書館											
WiFiおよび利用者用パソコンの設置（WiFi設置館数）	6館	6館	0	6館	10館	C	<ul style="list-style-type: none"> 相互貸借サービスが定着し、利用件数は毎年増。 各種データベース検索のため、中央図書館に個人解放用のパソコン設置を目指す。 	<p>○評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当だと思う。早急に改善を望む。 内容説明および自己評価について Wi-Fiやパソコン等ネット環境の整備はコロナ禍・ネット社会において急務。 レファレンスの事例紹介は今後期待する。方法を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ネット環境は重要であるが、パソコン1台では一人にしか対応できない欠点もある。スマホでどの程度図書館を活用できるか周知するとともに、利便性を調査してはどうか。 レファレンスの充実と結果の紹介をWebなどを活用して進めていただきたい。 		
相互貸借冊数	1,489	1,761	272	1,800	2,000						
レファレンスの事例紹介 発行回数	0	0	0	2	3						
外部委員による総評	図書館協議会・意見箱等からの意見をどのように事業に反映させたのか、その点からの評価も欲しい。 限られた予算・人員の中ではあるが、さらなる利用増や読書活動の充実のため、快適な読書空間の構築、施設の充実を望みたい。										

※「自己評価」について… A:目標値を上回って達成 B:目標どおり達成 C:目標値を下回った

